

# 教育長紹介



岩手県

さとう かずお  
佐藤 一男

「子どもたちの夢の実現や希望が叶えられるよう、教育機会の保障や学びの場の確保、教育の質の向上など教育環境の整備を図ることが、教育行政の使命である。」と思いを語る。

また、「全国的にも課題となっている教員の働き方改革の推進、不登校対策など、市町村教育委員会や庁内の関係部局とも連携・協力しながら、しっかり取り組んでいきたい。」と意欲を示す。

昭和62年、岩手県に入庁。商工労働観光部副部長、岩手県教育委員会事務局教育次長、教育局長などを歴任し、本年4月に教育長に就任。58歳。

(岩手県教育委員会事務局教育企画室長兼教育企画推進監 西野 文香)



宮城県

さとう やすひこ  
佐藤 靖彦

「学校現場と『悩み』と『感動』を共有し、子どもたちが行きたくなる学校づくり、学校現場で働く教職員がやりがいをもって楽しく働ける学校づくりを目指す。これからは「教育」を外に向けて開き、地域と一緒に考えていく。「連携」や「コラボ」がキーワードになる。」と抱負を語る。

また、「コロナをきっかけに学校現場に導入されたICTを有効に活用し、地域や企業など幅広い分野とも連携しながら様々な課題解決に取り組みたい。」と教育のDX推進への意欲を示す。

昭和63年宮城県庁に入庁。経済商工観光部次長、会計管理者、環境生活部長などを経て、本年4月に教育長に就任。59歳。

(宮城県教育庁総務課長 鎌田 光昭)



山梨県

ふりはた ともひろ  
降籬 友宏

「ICTを活用して、教師主体の一斉授業から子ども中心の場面を増やした授業スタイルや、教科を横断した課題を探究する活動を更に深化させて参りたい」と抱負を語る。

また、「教員が子供と向き合うという本来の業務に集中できるよう、県教委から学校へ送付する文書を大幅に削減するなど、学校現場における事務負担の見直しに、先頭に立って取り組みたい」と意欲を示す。

平成13年文部科学省に入省。生涯学習政策局情報教育課課長補佐、初等中等教育局教育課程課主任学校教育官、研究振興局学術機関課学術研究調整官、山梨県教育委員会事務局教育次長などを歴任し、本年4月に教育長に就任。47歳。

(山梨県教育委員会事務局総務課教育企画室長 岩出 修司)



### 三重県

ふくなが かずのぶ  
福永 和伸

「子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出すという基本姿勢のもと、激動の時代を子どもたちが自分らしく生き抜いていく力を育みたい」と抱負を語る。

「不登校やいじめなどで生きづらさを抱える子どもたちの未来づくりを支えるとともに、教職員の働き方改革を通じて、やりがいを持って働く教員の颯爽とした姿を目の前の子どものまぶたに焼き付けたい」と意欲を示す。

昭和58年三重県庁に入庁。県立亀山高等学校長、戦略企画部長などを歴任し、退職。令和3年より公益財団法人国際環境技術移転センター専務理事兼事務局長を務め、本年4月に教育長に就任。62歳。

(三重県教育委員会事務局教育総務課長 浮田 知樹)



### 香川県

よどや けいざぶろう  
淀谷 圭三郎

「香川県教育基本計画の基本理念『郷土を愛し 夢と志を持って 自ら学び 歩み続ける人づくり～自立・協働・創造を支える香川の教育～』の実現に向けて、学校、家庭、地域と連携・協力しながら、子どもたちが夢と志を持って、生涯にわたって学び、歩み続けられるよう全力で取り組んでまいりたい。」と抱負を語る。

また、「流動的で予測困難な社会において、変化を前向きに受け止め、可能性に挑戦する意欲と能力を持ったたくましく、思いやりあふれる人づくりを進めていきたい」と意欲を示す。

平成元年香川県庁に入庁。知事公室長、政策部長を経て、本年4月に教育長に就任。59歳。

(香川県教育委員会事務局総務課長 近藤 高弘)



### 鹿児島県

じとうしょ めぐみ  
地頭所 恵

「教育は、将来の鹿児島や日本を担う人材を育成するという重要な役割を持っており、このような仕事に携わることにやり甲斐と責任を感じている。県教育振興基本計画の基本である『夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり～あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり～』の実現に向けて、全力で取り組んでいきたい」と抱負を語る。

「特別支援教育の充実や教育機会の確保、教員不足の解消など鹿児島県教育の多くの課題に対し、スピード感を持って問題解決に当たりたい」と意欲を示す。

昭和59年鹿児島県庁に入庁。危機管理防災局長、暮らし保健福祉部長、鹿児島県監査委員を経て、本年4月教育長に就任。63歳。

(鹿児島県教育庁総務福利課長 内村 幸二)



## 千葉市

つるおか かつひこ  
鶴岡 克彦

「本市教育施策の基調である『人間尊重の教育』の理念のもと、『夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子ども』を本市の目指す子どもの姿とし、自ら考え、自ら学び、自ら行動できる子どもをはぐくんできていきたい」と抱負を語る。

そのために、「不登校児童生徒支援対策やいじめ防止対策などの課題解決、特別支援教育への対応やICTの活用推進、通学路の安全対策や学校施設の大規模改修などによる安全で快適な教育環境の整備など、ソフトとハードの両面から本市教育のさらなる充実を図る」と意欲を示す。

昭和63年に千葉県公立学校教員に採用され、市立小学校校長、学校教育部教育指導課長、学校教育部長などを歴任し、本年4月に教育長に就任。58歳。

(千葉市教育委員会事務局教育総務部総務課長 山田 利雄)



## 広島市

まつい まさのり  
松井 勝憲

「広島の未来を担う子どもたちの育成を支える教育行政がより良いものになるよう、誰一人取り残さない、豊かで深い学びや平和を希求する心を育てる教育などによる広島らしい教育を実現したい。」と抱負を語る。

また、「一人一人の個性・特性を尊重し、様々な境遇にある子どもの学びを支えるため、家庭や地域等と連携・協働しながら、誠心誠意、取り組んでいきたい。」と意欲を示す。

昭和62年に広島市役所に入庁。財政局次長、企画総務局行政経営部長、こども未来局長、教育委員会教育次長等を経て、本年4月に教育長に就任。58歳。

(広島市教育委員会事務局総務部総務課長 山本 雅英)